

住みよいまちづくり情報誌

Vol.48

令和元年9月1日

発行 住みよいまちづくり新莊会
 (水戸市新莊市民センター内)
 (〒310-0036) 水戸市新莊2-11-2
 Tel.029-221-7851
 責任者 住みよいまちづくり新莊会
 会長 川又 一郎
 編集 新莊会広報部
 印刷 常磐総合印刷株式会社
 題字・坂 俊治

新莊学区の常住人口 世帯数 3,105

男 2,882 女 3,099 合計 5,981 (令和元年7月1日現在)

年齢別人口

0 ~ 14 才 544 (9.1%) 15 ~ 64 才 3,373 (56.4%)

【参考値】

65 才以上 2,064 (34.5%)

(令和元年7月1日現在)



一年生紹介

7月28日(日)、新莊小学校校庭において、新莊夏まつりが開催されました。前日から続いた雨も朝方に上がり、午後には快晴の夏まつり日和となりました。

15:30から開会式、一年生紹介に続き、各テントにおいて、11の恒例の模擬店と8つのゲーム

コーナーが開き、アトラクションとして、茨城国体炬火イベント、管楽合奏、チア・ダンス、民舞、よさこい連、最後にフィナーレの花火が行われました。約2,400人の参加者が汗をかきながら日暮れまで和気あいあいと夏まつりを楽しみ、親睦を深めました。



←水商チア・ダンス

主催者及び来賓の皆様↑



新莊小管楽合奏



新莊の火誕生! -茨城国体炬火イベント



第4回水戸黄門漫遊マラソンを応援しよう!!

来る10月27日(日)、新莊会はマラソン応援を前3回同様実施します。町内会等、多くの参加をお願いします。

1. 応援場所 大工町旧フクダヤ前・神応寺前・雷神宮前
2. 応援時間 (南町2丁目スタート+2分)

フルマラソン 9時2分頃

3km 9時27分頃

5km

9時37分頃 (県中央理容美容専門学校付近折り返し)
(偕楽園下過ぎ折り返し)



令和元年度 合同総会

5月11日

新莊市民センターにおいて、住みよいまちづくり新莊会と社会福祉協議会新莊支部の合同総会が開催されました。

.....

新莊地区68町内会のうち57町内会長の出席をいただき、平成30年度の事業報告と決算報告及び令和元年度の事業計画と予算が承認されました。役員は住みよいまちづくり新莊会の一部改選及び社会福祉協議会新莊支部の改選がありました。

開会のあと、市民憲章唱和、水戸市歌斉唱、川又会長主催者あいさつに続き、高橋市長はじめご来賓のごあいさつをいただきました。また、合同総会後、水戸市などの魅力発信課長 沼田 誠氏に『概説・谷中の歴史』(古代・中世・近世編)と題してご講演をいただきました。



高橋市長あいさつ

今年度の主な行事

- 新莊夏まつり.....7月28日
- 敬老会.....9月16日
- 市民運動会(市民スポーツ大会).....10月20日
- 歩く会.....11月17日
- ユニカール大会(2).....2月9日
- 新莊ふれあいまつり.....3月8日



社会福祉協議会新莊支部の審議の様子



女性の会 支部長紹介

新役員

住みよいまちづくり新莊会(令和元年度)

● 総務自治部長(事務局長).....川又 健志

社会福祉協議会新莊支部(令和元年度・2年度)

● 支部長.....青木 實

● 副支部長.....

● 理事 袴塚 禮子、志賀 忠勝、笹島 隆治、飛田美江子

● 理事 石川 徹、川又 健志、近澤 博子、菊池かずよ

● 天谷 久、松枝 道子、長谷川泰子、塩井 雅子

● 仙波 雅江、岩淵 延子、中沢 英子、青山 道隆

● 鈴木 照子、大津 洋子、小林 邦子、佐倉富美江

● 監事 計.....武石加津子、高木ひろ子

● 湊 弘一郎、川上 利通

来賓

● 水戸市長.....高橋 靖様

● 水戸市議会議員.....袴塚 孝雄様

● 水戸市社会福祉協議会事務局長.....井上 利昭様

● 新莊市民センター所長.....細谷 潤様

● 末広老人福祉センター所長.....石堀 和雄様

「概説・谷中の歴史」

古代・中世・近世編

講師は、独自の視点で水戸の歴史の調査・研究に取り組んでいます。今回は、古代・近世における谷中の名所旧跡について水戸郷土かるた、由来伝説などを解説していただきました。



沼田 誠氏による歴史講演

○愛宕山(古代編)
「愛宕山は前方後円墳」

愛宕山古墳は県内最大級の前方後円墳で、国指定の史跡(1934年)です。祀っているのは建借間命(たけかしまのみこと)で、古代仲(那賀)国造の初祖です。5・6世紀頃、大和国から常陸国に飯富一族(多氏)が東の荒ぶる賊を平定するため派遣されたのが始まりとされています。

また、水戸周辺には、保和苑の「無所だめ」の大蛇や県の「くれふし山」の蛇伝説のように蛇を生かそうとする狩猟民族特有の伝説や、「木葉下」(あばつけ)のようなアイヌ語の地名があります。このことは、水戸周辺に、農耕民族の大和朝廷(建借間命)が治める前、狩猟民族のアイヌ人が住んでいた古い時代があった証しです。

○八幡宮(中世・近世編)
「老木のオハッキイチヨウハ幡宮」

水戸八幡宮には樹齢7百年の銀杏があり、歴史は古い。水戸八幡宮の祭神は、佐竹時代、水戸城主佐竹義宣により、常陸太田市にある馬場八幡宮から勧請された神

で、水府総鎮守として鎮斎され、水戸城西八幡小路(現在北見町)に建立されました。

徳川時代になり、光圀公の命により那珂西村(現城里町那珂西)へ移遷し、三代綱條公の時代、氏子等の請願により現在の白旗山の神域に遷座しました。この際、白鶴一羽が舞い降りて神域を卜定せしめたと伝わります。

○桂岸寺(中世・近世編)
「開運の仏は二十三夜尊」

桂岸寺は正式には大悲山保和院桂岸寺と言い、水戸谷中の二十三夜尊と呼ばれています。桂岸寺は水戸家附家老中山家三代信治が二代信政(父)と四代信行(子)

の菩提を弔うため建立しました。本来、中山家の菩提寺は、飯能市の智観寺にありますが、わざわざ桂岸寺を建てたのは、頼房公亡き後これを慕う兄信政が頼房公の墓地のある瑞龍山の見える所に葬れとの遺言を残したこと、そして信治の後を継いだばかりの子信行が急死し、これらを哀れ悲しむあまり、小松寺(城里町)の末寺を譲ってもらい建立したと思われます。また、保和苑は、光圀公が藩内の乱れを正すため、儒教の一つ「易经」の中から「自然の大調和」を意味する「太和を保合」の漢語を引用し名付けたと思われ(その他は紙面の関係で省略)

新莊散策

坂シリーズ(2)

榎本坂 えのきもとざか

元山町の榎本坂を紹介します。この坂道は、県立歴史館南側の岩間街道（旧水戸農業学校本館裏近く）から分岐した下り坂で、下った先は、常磐線により行き止まりとなっておりますが、途中梅林坂を上って偕楽園表門に、あるいは偕楽園西門、歴史館公園（蓮池）に通じます。

●榎本坂の由来

榎本坂は、年代不詳ですが、佐竹氏の時代には存在したと言われてます。



榎本坂周辺地図



ありし日の榎の大木（郡司さん提供）

● 佐竹氏慰霊の遺跡

りました。

坂の名前の由来は、坂の入り口付近に、大きな一本の榎の木があり、この地を榎本と呼んでいたことによるといわれています。榎の太木は、新道整備の際、新道に掛かっていたため伐採されました。

新道と旧道の分岐点（歴史館側）には、佐竹氏秋田移封に際して起こった車丹波の守の乱に組して処刑された一族の馬場新介の霊をなぐさめるために建てら

れたといわれる小さな石碑がありました。今はありません。また、その墓が歴史館内坂下にありよく献花されていますが、今は所在不明となっています。

● 觀音像

旧道分岐点（石碑があった場所）に子安観音、榎本坂坂下の家屋の奥に馬頭観音がありまゝ。郡司さんの二代目亀吉さん（美恵さん（94歳）の義父）が建てたものだそうです。当時の近所のひとの話では「過去、不幸なことに見舞われて、なんとか抜け出たいという念願から二体の石仏を建てられ、お祀りしていると聞きまして。」と伝われます。現在でも、郡司さんが欠かさず参拝し、霊を弔っています。

昔に想いを馳せながら、偕楽園や歴史館公園への別の散歩道として榎本坂を往来してみてはいかがでしょうか。



榎本坂 上方向が岩間街道、右が梅林坂

花壇コンクール

水戸市住みよいまちづくり推進協議会が主催する花だんコンクール審査が7月中旬実施されました。

新莊地区からは町内会の部で砂久保花の会が優良賞、職域の部で株吉田石油水戸SSSが優秀賞を獲得しました。表彰式は8月23日、水戸市役所で実施されました。

审查对象花坛

- ・砂久保花の会
- ・馬口労町1丁目町内会
- ・緑町会
- ・(株)吉田石油水戸SS
- ・栄町1丁目
- ・新荘小学校



(株)吉田石油水戸SS



砂久保花の会

新莊スポレク部主催

和氣あいあい

5月19日(日)午前、今年度1回目のユニカール大会が市民センターホールにおいて実施されました。42名が参加し、14チームにより1チーム2～4試合の和気あいあいゲームを楽しみました。

結果

優勝 長谷川・竹貫・相沢チーム
二位 龍崎・袴塚(女)・武石(加)チーム
三位 山部・三宅(女)・高木チーム



決勝戦投球

編輯部委員

川又健志・塩井雅子・神尾和子